

産科婦人科

【実習目標】

1. 病棟診療、外来診療を体験し、妊産婦や婦人科疾患患者への対応、診察法などを理解する。
2. 疾患の診断や治療法決定のプロセスを具体的に理解する。
3. 超音波検査法を見学し、実際の画像と病態を関連づける。
4. 手術に参加し、骨盤内臓器の局所解剖を理解するとともに手術の基本的手技を習得する。
5. 病棟回診に参加し、患者の訴えや闘病生活の実態を把握し、それへの対応を理解する。

【実習内容】

金 (前週)	ガイダンス（前週実習終了後）： 臨床実習（手術見学、外来見学）の概要説明、指導医の決定、手術症例・課題の振り分け
月	症例検討会、臨床実習、講義（第1週：CTG、第2週：分娩シミュレーション）
火	臨床実習
水	臨床実習、症例検討会・教授回診（15時～）
木	臨床実習
金	症例検討会、臨床実習、講義（第1週：新生児蘇生） 実習総括：担当課題のプレゼンテーション（13時～）

【注意事項】

1. 前週の金曜日の実習終了後（17時頃）、実習の概要を説明する。実習担当症例や課題の割り振りなどのガイダンスを行うので、全員で産婦人科医局（臨床研究棟3階）に来ること。月曜日までに割り当てられた担当症例と疾患について予習をしておくこと。また、CTGの講義動画、分娩に関する動画について事前に視聴をしておくこと。
2. 月曜日は8:10に産婦人科病棟に集合すること（時間厳守）。体調不良の場合は出席せずに、集合時刻より前に実習担当者にメールあるいは電話で連絡すること。
3. 月曜日の症例検討会終了後は、指導医の紹介などを行います。手術週、分娩・外来週に分かれ各自指導医の指示に従い、臨床実習を行う。午後は4階東病棟カンファレンスルームにて臨床講義を行う（時間確認）。
4. 火曜日～木曜日は8:30に産婦人科病棟に集合する。
5. 水曜日は15時からの症例検討会と教授回診に出席する。
6. 金曜日は8:10に産婦人科病棟に集合する。その後4階東病棟カンファレンスルームにて症例検討会に参加。第1週の午前は臨床講義を行い、午後は第1週と第2週、それぞれ総括を行う（時間確認）。総括では担当課題（手術症例、分娩に関する課題）についての発表と討論を行い、臨床実習の評価を行う。
7. 分娩や緊急手術の際には呼び出しを行うが、病棟実習は原則として17時までとする。
8. 手術見学・分娩見学の際には、必ずゴーグルを持参すること。

【評価方法】

1. 担当症例の手術見学とレポート(40点)、分娩に関する課題(30点)、小テスト(30点)、計100点で評価する。
2. 実習態度、見学症例の理解度、担当課題のレポート内容などを加味して、総合的に評価する。
3. 正当な理由のない欠席、遅刻、提出物の遅れは減点対象とする。

【担当教官】

医系科学研究科	産科婦人科学	教授	工藤	美樹
広島大学病院	周産母子センター	准教授	阪埜	浩司
医系科学研究科	産科婦人科学	講師	古宇	家正
医系科学研究科	産科婦人科学	助教	杉本	潤
広島大学病院	産科婦人科	助教	向井	百合香
広島大学病院	産科婦人科	助教	野坂	豪
広島大学病院	産科婦人科	助教	山崎	友美
広島県北部地域周産期医療支援講座		寄附講座助教	大森	由里子
広島大学病院	産科婦人科	助教	寺岡	有子

【連絡先】

広島大学病院 産科婦人科学医局 082-257-5262
実習担当 大森 由里子 yuoomori@hiroshima-u.ac.jp